

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-37457

(43)公開日 平成 5 年(1993) 2 月12日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 B 7/26

1 0 9 Q 7304-5K

H 0 4 M 3/42

E 9076-5K

// H 0 4 M 3/60

J 9076-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-190280

(22)出願日 平成 3 年(1991) 7 月30日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

(72)発明者 富依豊

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

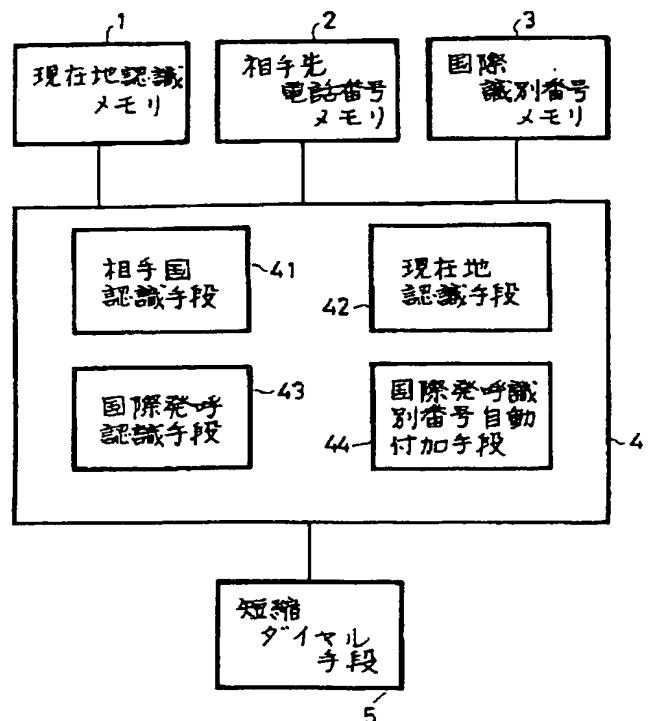
(74)代理人 弁理士 井出 直孝

(54)【発明の名称】 車載携帯電話端末装置

(57)【要約】

【目的】 相異なる国際発呼識別番号をもつ複数の国・地域を自由に往来して使用される車載携帯電話機が、それらの国・地域のどこへ移動しても短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルなどを有効に利用できることを目的とする。

【構成】 使用者が現在位置する国を登録する現在地登録メモリ 1 と、相手先電話番号が所属国を表す情報を伴った形で登録された相手先電話番号メモリ 2 と、各国の国際発呼識別番号が記憶された国際発呼識別番号メモリ 3 とを用い、相手先電話番号メモリ 2 から呼び出された電話番号を用いて発呼する際に、相手先電話番号メモリ 2 中の当該相手国と現在地登録メモリ 1 中の現在位置国を比較して一致すれば国内発呼、不一致であれば国際発呼と判定し、国際発呼と認識されれば相手先電話番号メモリの先頭に国際発呼識別番号メモリ 3 から呼び出した現在位置国の国際発呼識別番号を付加して国際発呼し、また国内発呼と認識されれば相手先電話番号の国番号などを取り外して国内発呼することを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 国番号を含む所属国情報を伴った相手先電話番号が登録される相手先電話番号メモリと、使用者が与える短縮番号に応じてこの相手先電話番号メモリに登録された電話番号のうちこの短縮番号に相当する電話番号の相手先に自動発呼する短縮ダイヤル手段を備えた車載携帯電話端末装置において、

使用者が現在位置する国の国名を登録する現在地認識メモリと、国名とそれに対応する国際識別番号とがあらかじめ記憶された国際識別番号メモリと、上記現在地認識メモリ、上記相手先電話番号メモリおよび上記国際識別番号メモリを制御する制御手段とを備え、

この制御手段は、上記相手先電話番号メモリに登録された個々の相手先電話番号の所属国情報を読み取って各々の所属する国を認識する相手国認識手段と、上記現在地認識メモリの登録内容を認識する現在地認識手段と、自動発呼に際して上記相手国認識手段が認識した相手国と上記現在地認識手段が認識した現在位置国とを比較して一致すれば国内発呼、不一致であれば国際発呼と判定する国際発呼認識手段と、上記国際発呼認識手段が国際発呼と認識すれば上記相手先電話番号メモリから呼び出された相手先電話番号の先頭に上記国際識別番号メモリから検索された現在位置国の国際発呼認識番号を付加し、また国内発呼と認識すれば該相手先電話番号の国番号を含む所属情報を取り外す国際発呼認識番号自動付加手段を含むことを特徴とする車載携帯電話端末装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、移動無線電話、車載携帯電話端末装置に利用する。特に、国際発呼時の国際発呼識別番号の自動付加手段に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、任意の一つまたは複数の相手の電話番号を電話端末装置内のメモリに記憶し、特定のキー操作により記憶された番号の一つを呼び出して発呼する短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルなどの技術は、頻繁に電話をかける相手に対する発呼操作を容易にする等の目的から広く用いられてきた。また、それらの技術は相異なる国際発呼識別番号を持つ複数の国・地域にまたがって稼働し、電話端末装置がそれらの国々・地域間を自由に往来して使用できるような車載携帯電話システムに属する車載携帯電話端末装置（以下、携帯電話機という）でも同様に広く用いられている。

【0003】 しかし、従来の携帯電話機では、メモリに記憶されたある一つの番号は記憶された通りに読み出され、そのままの番号で発呼することしかできない。すなわちある一つの国あるいは地域で使用することを想定して相手先の電話番号を装置に登録して使用するの、その国・地域内の相手は国内発呼（地域内への発呼）扱いとして国内のエリアコード以下を記憶させ、その国・地

域外の相手は国際発呼（地域外への発呼）扱いとして先頭にその国・地域の国際発呼識別番号（International Access Code）、相手の国番号（Country Code）を付加し、続けてエリアコード以下を記憶させている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 このような従来の短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤル機能を持つ装置の使用者は、ある国・地域で他の国・地域の相手の電話番号をメモリ登録する場合に自国の国際発呼識別番号および相手の国番号を付加して相手電話番号を登録するが、その装置を持って異なる国際発呼識別番号を持つ他の国・地域へ移動して短縮ダイヤル機能を用いて同じ相手への発呼を試みた場合に、登録された国際発呼識別番号が発呼地のものとは異なってしまい正しく発呼することができない。また同様にある国・地域で自国内の相手の電話番号をメモリ登録する場合には国内発呼として登録するが、その装置を持って他の国・地域へ移動して同じ相手への発呼を試みた場合に、他の国・地域からはその相手への発呼は国際発呼としなければならず、登録された番号を用いての発呼は正しい発呼とはならない。すなわち、従来の短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤル機能は相異なる国際発呼識別番号を持つ複数の国・地域を自由に往来して使用するような携帯電話機ではその利便さを十分に発揮できない欠点がある。

【0005】 本発明は、このような欠点を除去するもので、どこの国・地域へ移動しても短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルなどを有効に利用して発呼できる車載携帯電話端末装置を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明は、国番号を含む所属国情報を伴った相手先電話番号が登録される相手先電話番号メモリと、使用者が与える短縮番号に応じてこの相手先電話番号メモリに登録された電話番号のうちこの短縮番号に相当する電話番号の相手先に自動発呼する短縮ダイヤル手段を備えた車載携帯電話端末装置において、使用者が現在位置する国の国名を登録する現在地認識メモリと、国名とそれに対応する国際識別番号とがあらかじめ記憶された国際識別番号メモリと、上記現在地認識メモリ、上記相手先電話番号メモリおよび上記国際識別番号メモリを制御する制御手段とを備え、この制御手段は、上記相手先電話番号メモリに登録された個々の相手先電話番号の所属国情報を読み取って各々の所属する国を認識する相手国認識手段と、上記現在地認識メモリの登録内容を認識する現在地認識手段と、自動発呼に際して上記相手国認識手段が認識した相手国と上記現在地認識手段が認識した現在位置国とを比較して一致すれば国内発呼、不一致であれば国際発呼と判定する国際発呼認識手段と、上記国際発呼認識手段が国際発呼と認識すれば上記相手先電話番号メモリから呼び出された相手

先電話番号の先頭に上記国際発呼認識番号メモリから検索された現在位置国の国際発呼認識番号を付加し、また国内発呼と認識すれば該相手先電話番号の国番号を含む所属情報を取り外す国際発呼識別番号自動付加手段を含むことを特徴とする。

#### 【0007】

【作用】短縮番号を用いて発呼する際に行われる相手先電話番号メモリに登録された電話番号の読み取り時に認識される相手国と現在地認識メモリに登録された現在位置国を比較して一致すれば国内発呼、不一致であれば国際発呼と判定し、国際発呼と認識されれば相手先電話番号メモリから呼び出された相手先電話番号の先頭に現在位置国の国際発呼認識番号を付加して国際発呼し、また国内発呼と認識されれば相手先電話番号の国番号などを取り外して国内発呼する。

#### 【0008】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面に基づき説明する。図1は、この実施例の構成を示すブロック構成図である。この実施例は、図1に示すように、国番号を含む所属国情報を伴った相手先電話番号が登録される相手先電話番号メモリ2と、使用者が与える短縮番号に応じてこの相手先電話番号メモリ2に登録された電話番号のうちこの短縮番号に相当する電話番号の相手先に自動発呼する短縮ダイヤル手段5を備え、さらに、本発明の特徴とする手段として、使用者が現在位置する国の国名を登録する現在地認識メモリ1と、国名とそれに対応する国際識別番号とがあらかじめ記憶された国際識別番号メモリ3と、上記現在地認識メモリ1、上記相手先電話番号メモリ2および上記国際識別番号メモリ3を制御する制御手段4とを備え、この制御手段4は、上記相手先電話番号メモリ2に登録された個々の相手先電話番号の所属国情報を読み取って各々の所属する国を認識する相手国認識手段41と、上記現在地認識メモリ1の登録内容を認識する現在地認識手段42と、自動発呼に際して上記相手国認識手段41が認識した相手国と上記現在地認識手段42が認識した現在位置国とを比較して一致すれば国内発呼、不一致であれば国際発呼と判定する国際発呼認識手段43と、上記国際発呼認識手段43が国際発呼と認識すれば上記相手先電話番号メモリ2から呼び出された相手先電話番号の先頭に上記国際発呼認識番号メモリ3から検索された現在位置国の国際発呼認識番号を付加し、また国内発呼と認識すれば該相手先電話番号の国番号を含む所属情報を取り外す国際発呼識別番号自動付加手段44を含む。

【0009】次に、この実施例の動作をフローチャートで示す図2を用いて説明する。まず、使用者が現在いる国（あるいは地域）をキー入力操作等により登録し、その状態は現在地認識メモリ1に保存される。図1の例では「日本」と登録されている。また相手先電話番号メモリ2には、使用者の手によってあらかじめ一つないしそ

れ以上の相手の電話番号が相手の国の国番号（Country Code）を付加し、エリアコードの先頭の「0」を削除した形で登録されている。使用者が短縮ダイヤル等によるメモリ発呼の操作を行うと、相手先電話番号メモリ2の中から指定された番号が呼び出され、その先頭に付加された国番号から相手国が認識される。この例では「81 45 9392332」が呼び出され、国番号「81」より「相手国＝日本」と認識される。次に、認識された相手国情報と先に現在地認識メモリ1に登録されていた現在地情報を比較し、一致した場合は国内発呼と認識して先頭の国番号を削除し、代わりに先頭に「0」をつけて通常の国内発呼と同様の発呼を行う。この例では自国＝相手国＝日本なので「045 939 2332」として発呼している。また比較した結果が不一致の場合は国際発呼と認識し、あらかじめ登録されている国際識別番号メモリ3から現在国に相当する国の国際発呼識別番号を検索呼出して先頭に付加して発呼する。この例で仮に現在国が「USA」と登録されていたならば、呼び出された番号「81 45 939 2332」はUSAの国際発呼識別番号「011」を付加して「011 81 45 9392332」として発呼される。次の通話までの間に前回登録した現在国と異なる国（あるいは地域）へ移動した場合は、あらかじめ現在国を登録しなおすことにより、国際発呼識別番号が登録されている国であればどの国へ移動しても相手先電話番号メモリ2に登録された電話番号を用いて短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤル等の機能を同様に使用することができる。

#### 【0010】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように、発呼する際に相手国と現在位置国を比較して一致すれば国内発呼、不一致であれば国際発呼と判定し、国際発呼と認識されれば相手先電話番号の先頭に現在位置国の国際発呼識別番号を付加して国際発呼し、また国内発呼と認識されれば相手先電話番号の国番号等を取り外して国内発呼するので、相異なる国際発呼識別番号を持つ複数の国・地域を自由に往来して使用するような携帯電話機でもメモリに利用した短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルの機能を有効に利用することができる効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施例の構成を示すブロック構成図。

【図2】本発明実施例の動作を示すフローチャート。

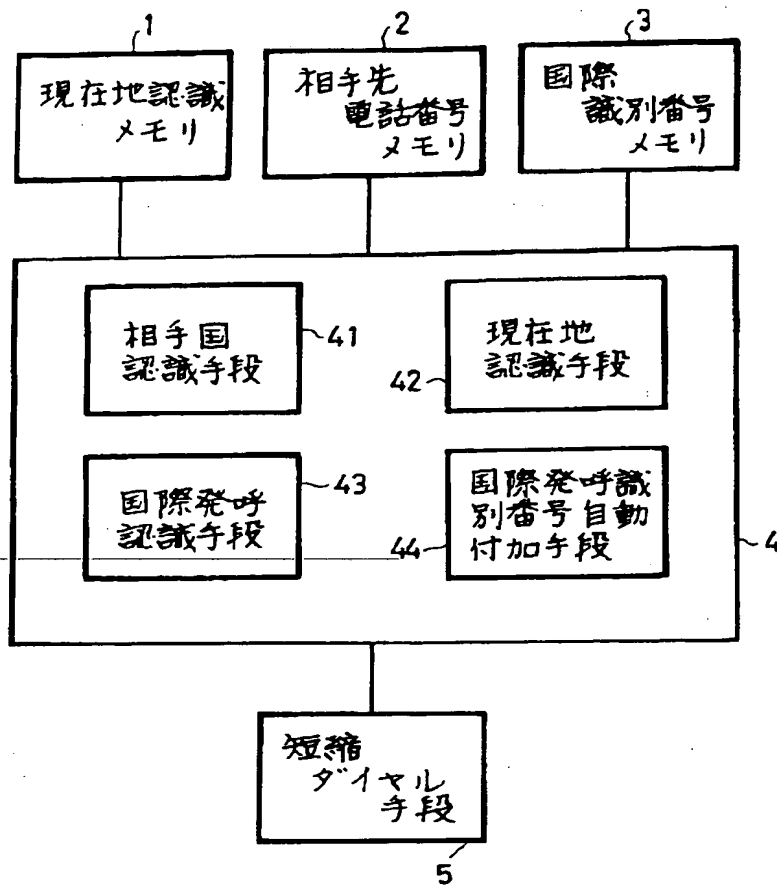
#### 【符号の説明】

- 1 現在地認識メモリ
- 2 相手先電話番号メモリ
- 3 国際識別番号メモリ
- 4 制御手段
- 5 短縮ダイヤル手段
- 41 相手国認識手段
- 42 現在地認識手段

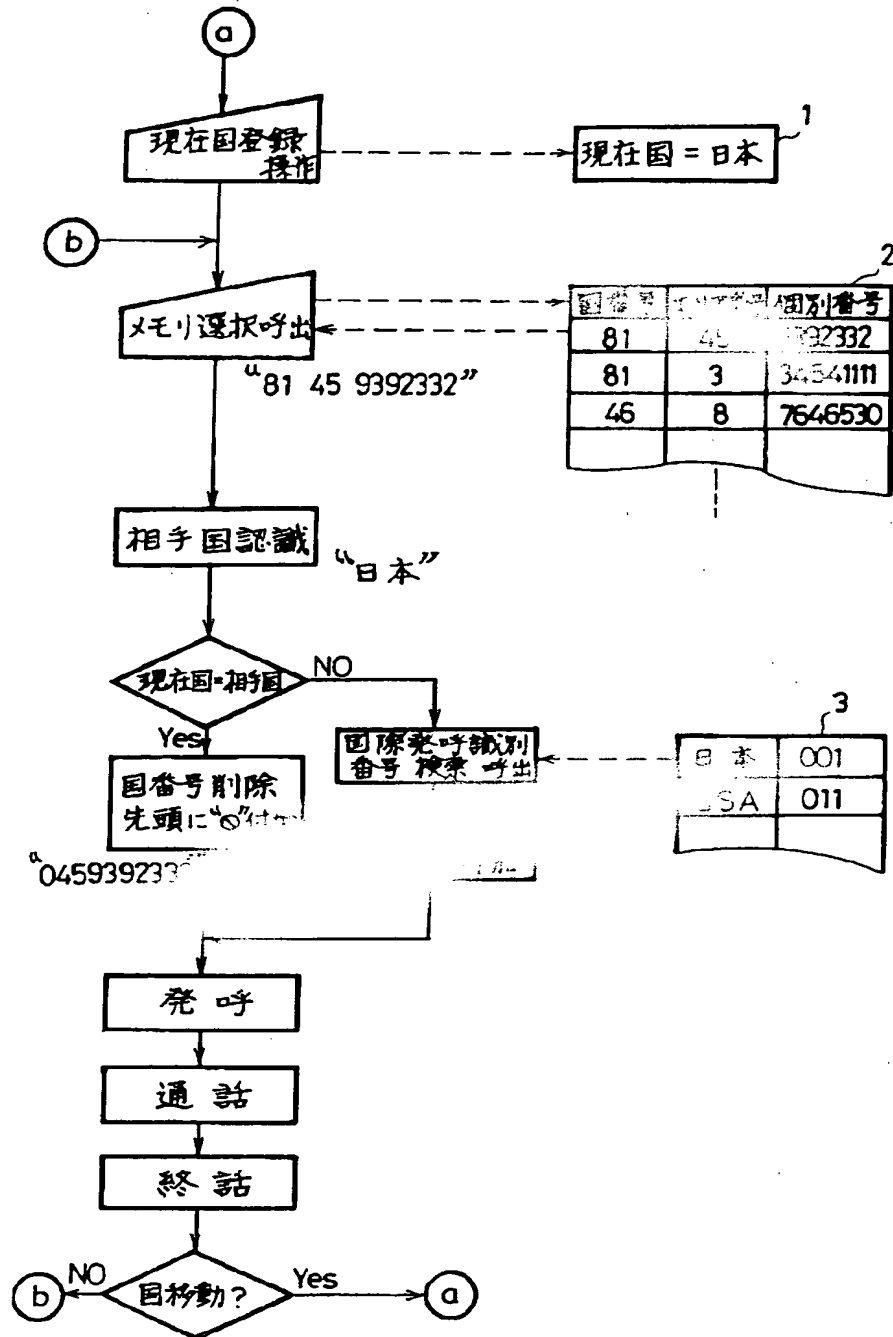
## 4 3 国際発呼認識手段

## 4 4 国際発呼識別番号自動付加手段

【図 1】



【図2】



BEST AVAILABLE COPY

**Excerpt from Japanese Patent**  
**Laid-Open Publication No. Hei 5-37457**

[0009]

5       Next, referring to Fig. 2 showing a flowchart of operation according to this embodiment, the operation will be explained below. A country (or a region) where the user presently exist is registered by key input operation or the like to store the current status into a present location identification memory 1.

10   In the example of Fig. 1, "Japan" is registered as the country. One or more telephone numbers are registered in a telephone number memory 2 for destination partner beforehand by the user himself/herself in the form in which a country code for a country of the destination partner is added, and "0" being a

15   leading character of an area code is eliminated. When the user executes operation to invoke a memory by abbreviated dialing or the like, a designated number is retrieved from the telephone number memory 2 for destination partner, and a destination country is identified based on the country code attached to the

20   head of the designated number. In this example, numeral string "81 45 9392332" is retrieved and recognition of "destination country = Japan" is obtained from the country code of "81".

Next, information on the recognized destination country is compared with information on the present location previously

25   registered in the present location identification memory 1. When the information matches, recognition of a domestic call is made, and the leading country code is replaced with numeral "0" to make a call similarly to a usual domestic call. In this example, as user's own country = destination country = Japan,

the call is made using numeral string "045 939 2332". On the other hand, when inconsistency is found as a result of comparing the information, recognition of an international call is made, and a pre-stored international call identification code of a country corresponding to the present country is retrieved from an international identification code memory 3 and attached to the head of the telephone number to make a call. Here, supposing that "USA" is registered as the present country in this example, retrieved telephone number "81 45 939 2332" is attached with numeral string "011" of the international call identification code for the USA, and a call is made using "011 81 45 9392332". If the user moves to another country (or another region) from the pre-stored present country, the user registers a new present country before making a next call. In this manner, the user can use the function, such as abbreviated dialing, one-touch dialing, or the like, of using the telephone number registered in the telephone number memory 2 in an analogous fashion no matter what country the user goes to as long as the international call identification code of the country is registered.